

平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

1. 学校概要

学校名 岡山市立三軒小学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☐ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒703-8291 岡山県岡山市中区徳吉町一丁目 1-21

E-mail sankuns@city-okayama.ed.jp

Website <http://www.city-okayama.ed.jp/~sankuns/>

児童生徒数 男子 337 名 女子 248 名 合計 585 名
 児童・生徒の年齢 6 歳～12 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☐ 平和・人権
- ☐ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☐ 防災
- ☐ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☐ そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容

1. 本校の ESD の特徴

本校では、ふるさと岡山や三黽学区の“人・自然・文化”を題材とした学習に継続して取り組み、地域の環境問題や人権問題、歴史や文化について学習を深めている。6年生になると、学区に隣接する岡山後楽園の能舞台で、日本の伝統文化であり、ユネスコの無形文化遺産に登録されている能楽の発表会を開催する。本年度で16年目を迎えるイベントであり、地域の文化財を守る意識とともに、伝統文化を継承する担い手を育てる機会となっている。このような学習を通して、ふるさとを誇りに思いふるさとを愛する心を育むとともに、自ら課題を見つけ、追求し、解決していこうとする主体的な思考力や判断力を養ってきている。

これらの学習を継続し発展させることで、「地域の文化を持続可能なものにするための担い手づくり」をテーマに三黽 ESD プロジェクトとして実践していく。

2. ユネスコスクールとしての活動・全体計画

学年	学年のテーマ	内 容	時期
1年	昔遊びをしよう	地域の方に昔からの遊び(おてだま、けんだま、こま、おはじき、たけうま)を教わったりいっしょに遊んだりする。教えていただいた地域の方を招待して、昔あそびの発表会を開き、練習の成果を披露したり、地域の方と交流したりする。	10月～11月
2年	わたしのまちをたんけんしよう	三黽学区にはどんなお店や公共の施設があるのか、探検を通して調べていく。実際に学校の外に出て見学することにより、三黽学区について知ったり、町の様子に気づいたりする。	7月～11月
3年	三黽の宝物をさがそう	三黽学区の歴史あるものや歴史的行事をさがし、地域住民から昔のくらしや歴史ある建物について話を聞くなどして調べる。学習の成果をまとめ、発表会を開く。	1月～3月
4年	三黽の環境を守ろう	地域の特徴や問題点に目を向け、地域や社会がもっとよくなるためにはどうしたらいいか、自分にはできないことはないかという思いをもち実践する。	4月～9月
5年	三黽の歴史・文化を調べよう	後楽園、岡山城を見学したり、観光ボランティアの方の話を聞いたりして、歴史や伝統、そのよさについて理解を深め発表会を開く。	4月～7月
6年	能学習 伝統文化をさぐろう	4～5月は能楽について調べ、6月から能楽師を講師に招き、実技を伴う「能学習」に取り組む。11月に岡山後楽園の能舞台で発表する。2月に学習のまとめを学校HPにて地域に発信する。	4月～2月

3, 特徴的な活動事例の紹介

第1学年「みんないっしょに」

日時：2015年10月

内容等：家族にたずねた「昔からの遊び」に挑戦し、児童は昔からの遊びをもっと上手になりたいという思いをもった。地域の方に教えてもらい、何度も繰り返し練習し、昔からの遊びが上手にできるようになった。再度地域の方といっしょに遊んだり、感謝の気持ちを伝えたりしてふれあった。さらに、教えてもらったことやできるようになったことを幼稚園児に優しく教えようという気持ちを持ち、「むかしあそびランド」を開いた。



第2学年「町をたんけん、大はっけん」

日時：2015年11月

内容等：東山公園のまわりを地域の方と一緒に探検した。地域についてもっと知りたくなり、もう一度探検に行く計画を立てた。探検するところを決め、グループでインタビューすることや見学することを考えた。探検を通して、東山公園の周りだけでなく自分たちの家の周りにも素敵なものがあり、素敵な人がいることに気づき、友達に紹介していった。



第3学年「三黠の宝物を探そう」

日時：2015年5月

内容等：校舎内外を巡って学校の歴史や特色を調べた児童は、クイズや掲示物に表したり、実物を展示したりして、学校の「宝物」を見つけていった。さらに、児童は道徳授業とその前後の活動や、学習発表会への取組を通して、学級・学年・学校の一員としての意識を高めていった。並行して行った総合的な学習の時間では、学区に数多くある史跡や文化財に足を運んで、学区内の「宝物」を見付ける目をもつようになり、お勧めの史跡や文化財をまとめたパンフレットを仕上げる事ができた。



第4学年「『ふるさと三黠』をつくろう」

日時：2015年7月

内容等：三黠学区のジオラマを見ることにより、道が細いわりに交通量が多い、川が汚れているなどの問題点を出し合った。問題と考えたことが本当かどうかを、観察や調査したり、インタビューしたりして検証した。その中でみつけた安全パトロール隊による学区の見守りや、地蔵川に蛍をはなす活動について意見を話し合う中で、自分たちが感じた問題を解決しようと取り組む地域の人の存在に気づくことができ、わたしたちを支えてくれている学区のよさだと分かった。みんなで話し合ったことを発信することで、自分たちの力で三黠学区をよくしていきたいという意欲が高まった。



第5学年「地域のぼっけえ ええとこ発見！」

日時：2015年10月

内容等：「岡山といえば、桃太郎でよいのか検証しよう」

という課題をもった児童は、観光センターで資料を集めたり、県のキャラクターとなっている「ももっち」誕生の経緯を岡山県庁公聴広報課で聞いたりして、岡山と桃太郎のつながりを探っていった。岡山県や市を挙げた取組に多くの人が関わっていることや、桃太郎とゆかりのある吉備津神社を支える氏子の方々の努力などを知った。岡山と桃太郎のつながりをさらに確信したという内容の発表もあった。桃太郎をさらに大切に、桃太郎に関する行事に自分もかかわっていきたいと思う児童が増えてきた。



第6学年「能学習 伝統文化をさぐろう」

日時：2015年11月12日

参加者：三黠小学校6学年児童90名、保護者、職員、喜多流能楽師 大島衣恵氏、地域の方々

内容等：三黠小学校では、ふるさと岡山や三黠学区の“人・自然・文化”を題材とした学習に継続して取り組んできた。1・2年生の生活科単元や3年生以上の総合的な学習の時間の単元で、ふるさと岡山や三黠学区の“人・自然・文化”を題材とし、地域とのふれあいを大切にする学習「ふるさと学習」に継続して取り組む。「ふるさと学習」のまとめに当たる第6学年で、学区に隣接する歴史ある岡山後楽園の能舞台で、日本の伝統文化である能の発表会を開催した。



第6学年「オーストラリアの友達と交流しよう」

オーストラリア Grose View Public School と、電子メールや動画共有サイトなどを通じて、お互いの国のことや総合的な学習で学んだことを紹介しあうなど交流を進めた。

まず、電子メールでお互いの学校や国についての質問をやりとりした。その中には、6年生で取り組んでいる能に関して「なぜ能を学ぶのか」という質問があり、改めて能を学ぶ意義を捉え直す良い機会となった。その後はお互いの学校紹介の映像を送り合い、自分の国では当たり前のことが他の国ではそうでないことや、オーストラリアで日本語を学んでいる子ども達がいることに驚くなど、国際的な視野を深める交流をもつことができた。



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ☒ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- ☐ 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☐ その他（

）